## 日本国民に告ぐ

下に けるんく す掛 るれないすつあ すで人人ちは全か部品 雑部 ん助命 さ書豫爆都がてこかで戦人ばたふア張りア遊す違道る服部せかをこ設若数でけをあいいめ撃事少もの て争でもちかとります舞かをきかが破るこ製のをく日下た助な て注しのく爆裏 平をすっをはり込むりょら傷長分お環島の造都米けのさけけた 日 お意ま内と撃に 知止 上解た力ん人力で裏つのりりしに勝す市空若内いれよけ 本 るしす心もさ書 もめ よ故いのであの下にけアままま使目るに率千に ばう自園 都で ずこれい 極る いす軍者品な敵な書たとせせずふの工ははる裏 こと分 たお 全のるで 復様 新る部へるたはいいくりんんけ無な場軍爆都面 のはや にかる 部裏かあ しな 日事ので軍方お くは力御かれ恭い水事撃市の ご思親と あまは承らとを戦あたしに都 ラひ兄 遊す く者知都 ら指 がす迫るこ 戦に るり罪処とも来争り設まる市 をま弟 はっれず と導 出さル平と争方 都まののこ爆空をまやするの よせ友 しら 若てまで う者 東うら知敵にで かんいに落には引軍需 事金 譲かの

